

一緒に考えませんか？ 北区の児童館・ 児童センターのこれから

～施設集約と児童館事業 の区内拡充に向けて～



- 1.市の公共施設の現状と課題
- 2.北区の児童館の現状と課題
- 3.これまでの取組み
- 4.市の考え方
- 5.検討のプロセス



**パネル展示へようこそ！
ぜひご覧ください！**

現在の公共施設は様々な課題に直面

児童館再編の検討を始めたきっかけ

北区にある児童館4施設のうち、葛塚東児童館、早通児童センターは、築後40年以上が経過し、老朽化が進行しています。安心安全なサービスの提供が今後困難になりつつあります。

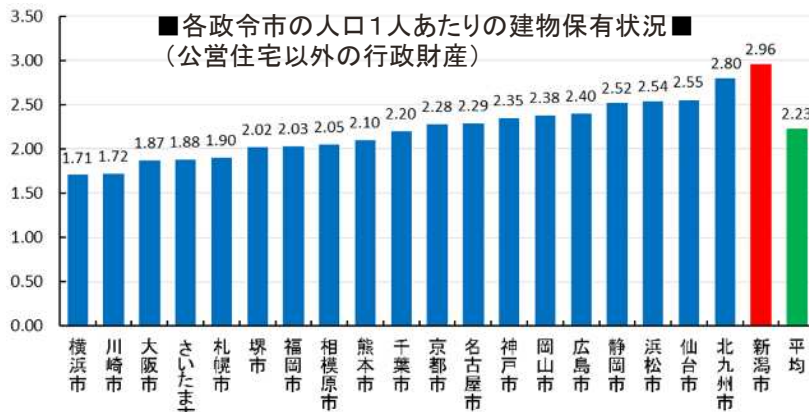
一方、歩いていける場所に児童館がない地域の方が多く、北区全域に児童館機能を届けるためには機能の拡充が必要と考えていました。

これらをきっかけとして、北区全体の児童館の今後の在り方を示す北区の「児童館再編案」の策定に向け、検討を本格化させ市民と行政との対話を開始することとしました。

政令市で最大の施設面積

公営住宅を除いた市民1人あたりの市の施設面積で比較すると、新潟市は2.96㎡となり、政令市で最大となります。

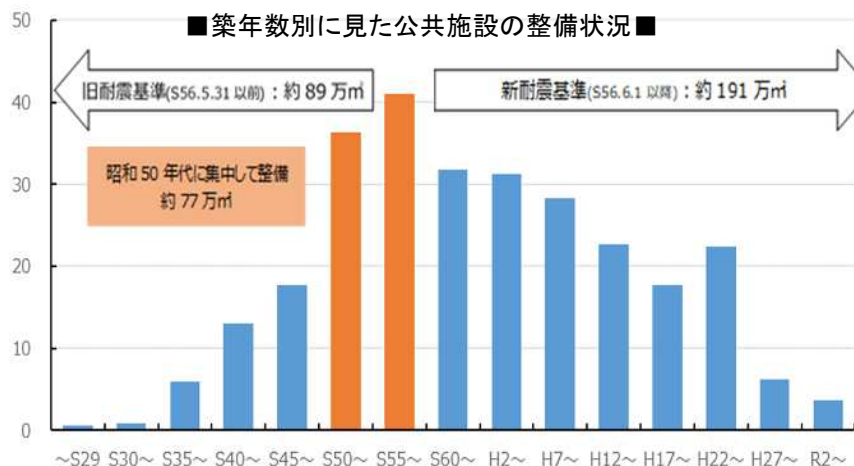
政令市の平均値は2.23㎡/人です。



財産経営推進計画基本方針編6頁より

老朽化する公共施設

現在使われている公共施設の約3割は、人口増加が著しかった昭和50年代に整備されたものが多く、老朽化による修繕や建て替えの時期が一斉に到来することが見込まれます。



財産経営推進計画基本方針編7頁より

現在の公共施設は様々な課題に直面

人口減少 (生産年齢人口の減少)

本市の人口は、平成27年から30年後の令和27年には約12万1千人(15%)減少すると見込まれています。とりわけ、勤労世代である生産年齢人口(15歳から64歳)の減少が著しいため、将来の税収増加の見込みは厳しいものとなっています。また、年少人口(14歳以下)は約2万7千人(28%)減少すると見込まれています。まちのありようの変化に伴い、公共施設に求められる機能も変わっていくことが予想されます。

■本市の将来推計人口(総数・3区分構成)■

	平成27年(構成比)	令和27年(構成比)	増減(増減率)
市全体	810,157人 (100%)	688,878人 (100%)	▲121,279人 (▲15%)
高齢者(65歳以上)	218,593人 (27%)	265,838人 (39%)	47,245人 (22%)
生産年齢(15~64歳)	493,100人 (61%)	352,249人 (51%)	▲140,851人 (▲29%)
年少(14歳以下)	98,464人 (12%)	70,791人 (10%)	▲27,673人 (▲28%)

資料:日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、平成30年3月)をもとに作成
財産経営推進計画基本方針編2頁より

今後増加が見込まれる公共施設の維持・更新費用

現在の公共施設を、たとえ長持ち(長寿命化)させたとしても、今後、修繕や建て替えなどの費用が増加することが予想されています。将来の税収増加の見込みが厳しいなかで、今ある施設の全てを今後も同じように維持することは難しい状況です。

■公共施設の将来更新費用と近年平均更新費用の比較■

シナリオ	今後30年間の必要額	年平均の必要額	H27~R1年平均額
長寿命化対策のみの場合	6,467億円	216億円	153億円

財産経営推進計画基本方針編7頁より一部抜粋

「新潟市財産経営推進計画」の策定へ

市では、平成27年7月に、市の公共施設や道路、橋、上下水道などのインフラ資産について、今後の管理を安全かつ合理的に進めていくために、「新潟市財産経営推進計画」を策定しました。

財産経営とは、市有財産を効率的に管理・利活用する取り組みのことを指します。

現在の公共施設は様々な課題に直面

「財産経営推進計画」の基本的な考え方

財産経営推進計画では、公共施設等の効率的な管理・利活用を図り、持続可能なまちづくりを目指すため、公共施設、インフラ資産それぞれにつき基本方針を掲げています。ここでは、公共施設の基本方針をみていきましょう。

公共施設の基本方針

総量削減

人口減少や厳しい財政状況などを踏まえ、施設にかかる費用の削減や、需要に見合った施設規模での更新、集約化・統廃合による施設の見直しなどを行います。

サービス機能の維持

単一目的の施設から多機能化・複合化施設への転換を図り、施設規模は縮小しても、スペースの有効活用などによりサービス機能を可能な限り維持します。

市では、令和2年3月に公共施設全体の配置方針を定めることにより、さらに財産経営の取組を強化することにしました。そのために公共施設をサービス機能の類似するグループにより17種類に分類し、その種類ごとにサービス機能の再確認を行い、方針を定めました。

本市の児童館施設の配置方針

- 原則、新設や更新は行わない
- 既存の児童館と学校や地域の既存施設を活用しサービス提供の場を拡大
- 将来的には学校や地域の既存施設を核にしたサービス提供へ

このような背景のもと、本市の方針に基づく現時点での考え方をお示し、利用者や地域の皆さまとの対話により児童館再編案の計画作成を目指すものです。パネルをご覧ください、ご意見をお聞かせください。



2. 北区児童館の現状と課題

市の子育て支援施設 (児童館)

本市には児童福祉法に基づく児童館として公設のものが12施設、それに類する施設として2施設あります。児童館のうち4施設が北区にあります。



【分類】子育て支援施設(児童館)を更に分類すると、次の2つに分類されます。
①児童館 ②児童館に類似する施設

区	圏 域 区 分		
	I (市を代表する施設)	II (区を代表する施設)	III (地域に密着した施設)
北			①葛塚東児童館 ①早通児童センター ①三ツ森児童館 ①豊栄児童センター
東			②こども創作活動館
中央	②こども創造センター		①新潟市児童センター
江南			①亀田東児童館
秋葉			
南			①白根児童センター ①味方児童館 ①白根南児童館 ①白根北児童館
西			①坂井輪児童
西蒲			①岩室地域児童館

北区の児童館施設について

児童館とは

児童館は、18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とした子育て支援施設です。子どもが自由に来館して遊ぶことができ、利用は無料です。

豊栄児童センター (大型児童センター)

- 学校区 葛塚東小学校
- 設置年月 平成21年4月
- 延床面積 519.15㎡
- 利用時間 午前9時～午後7時
- 休館日 12/29～1/4

豊栄児童センターは北区全体の児童館施設の拠点として統括しています

※中・高校生を対象とした活動の実施など



早通児童センター (児童センター)

- 学校区 早通南小学校
- 設置年月 昭和56年5月
- 延床面積 336.88㎡
- 利用時間 午前9時～午後5時
- 休館日 日曜日・祝祭日
12/29～1/4

葛塚東児童館 (児童センター)

- 学校区 葛塚東小学校
- 設置年月 昭和60年4月
- 延床面積 353.89㎡
- 利用時間 午前9時～午後5時
- 休館日 日曜日・祝祭日
12/29～1/4

三ツ森児童館 (小型児童館)

- 学校区 岡方第二小学校
- 設置年月 平成13年1月
- 延床面積 235.67㎡
- 利用時間 午前9時～午後5時
- 休館日 日曜日・祝祭日
12/29～1/4

北区の児童生徒・学級数の推計

	令和4年度（実績値）		令和10年度（推計値）		増減	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
北区の小学校	3366	138	2628	102	-738	-36
北区の中学校	1748	59	1590	52	-158	-7
合計	5114	197	4218	154	-896	-43

北区の小中学校については、令和10年度推計値によると令和4年度に比べ、児童生徒数が896人減少する見込みとなっています。利用需要の変化に対応した、サービスの提供や効率的な管理・活用につながる検討が必要です。

児童館の役割について

その他の子どもや親子の居場所

【子育て支援センター】

乳幼児とその保護者を対象に、保育士や保健師による子育て相談、フリースペースの開放などを行っています。利用は無料です。北区では保育園やこども園内に6ヶ所設置しています。

【ひまわりクラブ】

就労などにより、昼間保護者のいない家庭の小学生に対し、健全な遊びや安全な生活の場を提供します。昼間、保護者のいない小学校に就学している児童が対象です。月8,400円と月2,000円程度のクラブ活動費がかかります。(保護者の税額により減免制度あり)

【ふれあいスクール】

小学校の施設を活用して子ども達に遊びを提供しています。異年齢交流や地域の大人との交流により地域の教育力の活性化を図る事を目的としています。地域の方、保護者などのボランティアスタッフが、子ども達を見守り、一緒に活動します。実施曜日や回数、時間は学校により異なります。

児童館に求められる役割

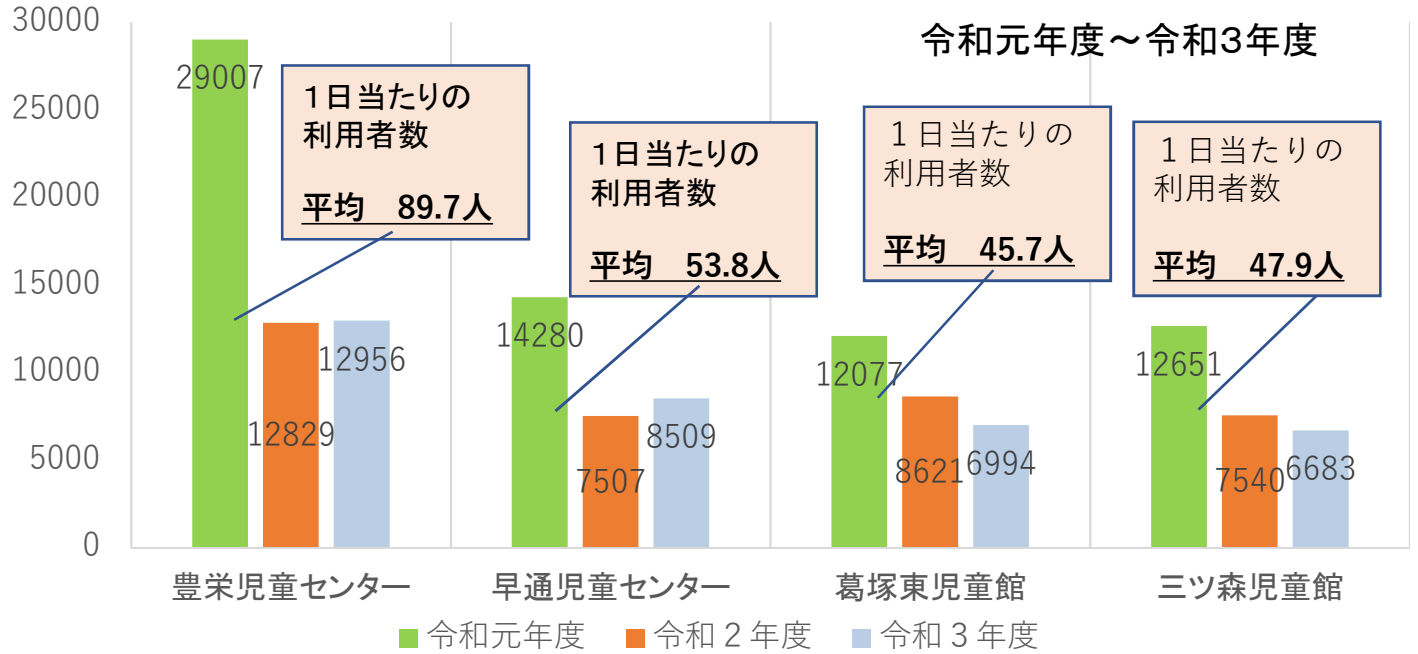
児童館は昭和40年代から50年代の高度経済成長期に全国的に設置が進められましたが、平成18年度をピークに減少傾向に転じています。このような状況の中で児童館は単に近隣地域だけでなく、児童館のない地域の児童健全育成を図ることが期待されています。

- ・子どもと子育て家庭が抱える可能性のある課題の発生を予防し、早期発見に努め、専門機関と連携して適切に対応すること。
- ・地域組織活動の育成を支援し、子どもの育ちに関する組織や人とのネットワークの中心となり、地域の子ども達を健全に育成する拠点としての役割を担うこと。
- ・地域の健全育成の環境づくりとして児童館がない地域に出向いたり、遊びや児童館で行う文化的活動等の体験の機会を提供するように努めること。

児童館ガイドライン(厚労省)より

各館の利用状況

利用者数



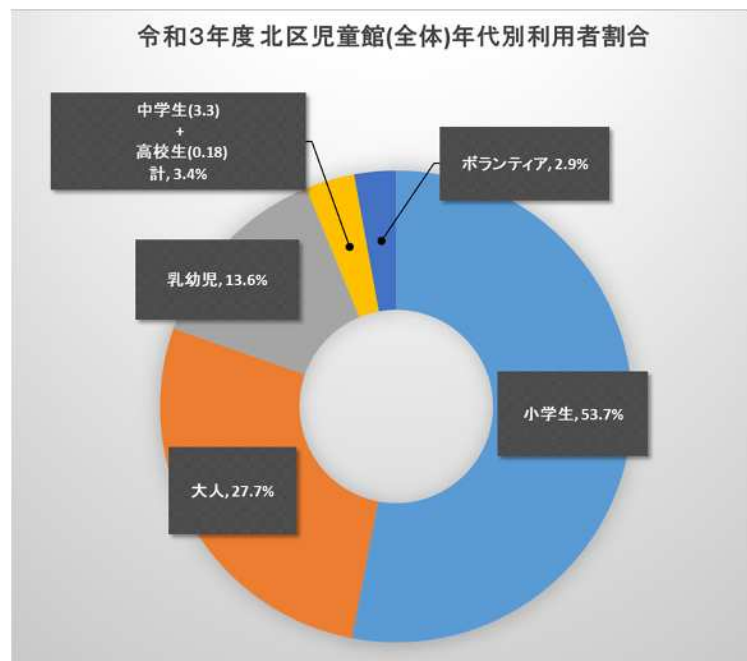
- ・4館の利用者数は豊栄児童センターはコロナ前は増加傾向にありましたが、他の施設は横ばい、または減少傾向にありました。
- ・イベント開催日は遠方からの利用もあります。
- ・オンラインでの開催や出張児童館なども実施しています。

年代別の利用割合

いずれの館も利用者の傾向として、小学生が利用の過半数以上を占めており、次いで大人、乳幼児となります。

大人の利用者の内訳は、乳幼児の保護者のほか、地域住民による児童館活動への参加によるものとなっています。

中高生の利用は3.4%です。



2.北区の児童館の現状と課題

葛塚東児童館周辺の概況

新潟市財産経営推進計画

葛塚地域実行計画

【背景】

葛塚地域では、北区役所新庁舎の整備や太田小学校の編入統合をきっかけとして、実行計画の検討に着手し、平成28年10月から翌年9月までの全6回開催されたワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。

【再編の実施時期】

北区役所関連施設の再編や太田小学校の文書館への転用は短期的に、保育園、児童館及び郷土博物館は施設の更新に合わせて長期的に再編を実施することとします。また、詳細な検討の進捗状況や財政状況などにより、再編時期や内容について適宜見直しを行うこととします。

公共施設の再編計画

【コンセプト】 地域の均衡ある発展

【北区役所関連施設の概要】

- 区役所新庁舎は、公民館（事務所機能と貸館機能の一部）などと複合化
- コミュニティセンターと公民館（一部）の機能は現区役所（新館）に移転
- 現区役所（本館）は解体、敷地の一部を売却

【北区役所関連以外の施設の概要】

- 太田小を文書館に転用（避難所機能を維持）
- すみれ保育園は、概ね20年後の更新に合わせて交流スペースと複合化
- 東児童館は、更新時期を迎える概ね30年後までは存続
- 博物館は、更新時期を迎える概ね20年後、ビュー福島潟エリアへ機能移転し、跡地を売却
- 3つの保育園は、更新時期を迎える概ね20年後に民営化などを検討

【効果】

- 既存建物の有効利用ができ、講座室などの活用で地域の活性化も期待
- 子育て環境を整えることで、地域の魅力向上に期待
- ビュー福島潟との相乗効果により集客力が高まり、エリア全体の魅力向上に期待
- 民間活力導入によるコスト削減により、将来世代の財政負担軽減

短期的に再編を実施する施設の方針及びスケジュール

施設名	方針	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
北区役所新庁舎	新設	設計	工事	工事 併用時	工事 (外構など)	工事 (外構など)
現区役所(本館)	新庁舎へ移転			移転	解体	
豊栄地区公民館	新庁舎・現区役所(新館)へ機能移転			一部移転		一部移転・解体

現区役所(新館)	コメンと公民館(一部)の機能を移転	施設のコメン化を含め一元的な管理運営を確立	設計	工事	供用
葛塚コメン	移転				移転 解体
豊栄地区公民館	新庁舎・現区役所(新館)へ機能移転			一部移転	一部移転・解体

太田小学校	文書館に転用(葛塚小へ編入統合)	条件整理	設計	工事	供用	→
-------	------------------	------	----	----	----	---

長期的に再編を実施・検討する施設の方針

すみれ保育園・東児童館	すみれ保育園は、概ね20年後の施設の更新に合わせて、交流スペースと複合化するとともに、2階建て以上で整備することで、防災機能を強化 東児童館は、更新時期を迎える概ね30年後までは存続とし、その後売却・貸付
-------------	---

郷土博物館・郷土資料収蔵庫・ビュー福島潟	博物館は、更新を迎える概ね20年後に、ビュー福島潟エリアへ機能移転(更新時期を迎える概ね20年後までは、現在地で存続)
----------------------	---

太田・かやま・若葉保育園	施設の更新を迎える概ね20年後に、民営化などを検討(民営化を決定するものではありません)
--------------	--

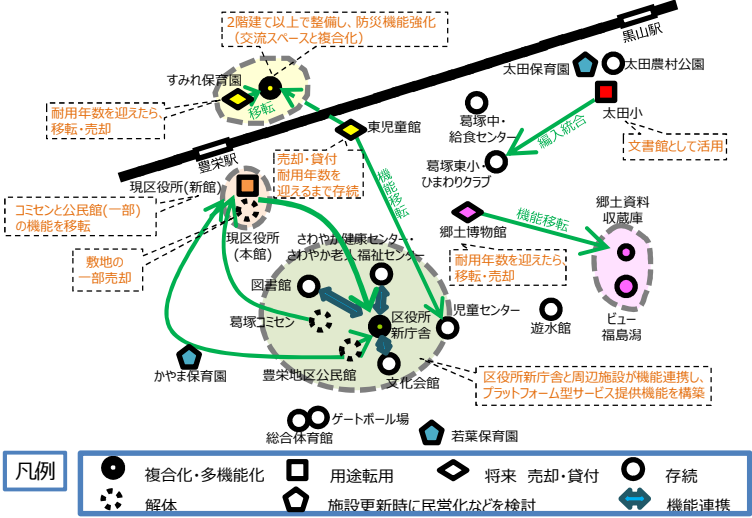
その他の施設の方針

その他の施設	存続
--------	----

【今後の進め方】

計画を実施するにあたって下記事項に配慮し、地域や施設利用者などに意見聴取を行いながら再編を進めます。

- ・ 区役所新庁舎とコミュニティ施設に転用する現区役所（新館）の駐車台数の確保
- ・ 保育園の民営化を検討する際は、メリットやデメリットを示しながら、地域とともに検討



財産経営推進計画では、公共施設の将来のあり方を示す「地域別実行計画」を、中学校区を基本単位とした地域ごとに、地域のみなさんと協働して作成することとしています。葛塚地域では、平成30年2月に地域別実行計画を策定しました。

葛塚地域実行計画では、葛塚東児童館は耐用年数を迎えるまで存続とし、豊栄児童センターへ機能移転することとしています。

また、詳細な検討の進捗状況や財政状況などにより、再編時期や内容について適宜見直しをすることとしています。

葛塚東児童館周辺の概況

周辺施設の概要

児童館周辺には多くの公共施設があります。葛塚小学校にはふれあいスクールが設置されています。

分類	施設名	建築年
庁舎系施設	北区役所	令和2年
コミュニティ系施設	豊栄地区公民館(区役所3F)	令和2年
図書館	豊栄図書館	平成12年～平成15年
子育て支援施設	豊栄児童センター	平成21年
コミュニティ系施設	葛塚コミュニティセンター	平成6年
ひまわりクラブ	葛塚東ひまわりクラブ第1	平成15年
ひまわりクラブ	葛塚東ひまわりクラブ第2	令和2年
ひまわりクラブ	葛塚ひまわりクラブ	昭和60年
スポーツ施設	豊栄総合体育館	昭和60年
ホール施設	北区文化会館	平成22年
学校教育施設	葛塚東小学校	昭和51年～昭和63年
学校教育施設	葛塚中学校	平成16年



葛塚東児童館の概況

- ・指定管理者による管理運営施設。
- ・昭和54年建築で築43年経過。鉄骨造。
- ・建物償却率 94.2% (令和3年度財産白書より)
- ・遊戯室の雨漏りがみられ、令和2年、令和3年と補修を実施するも現在も雨漏りが発生している状況。屋根の劣化が著しく進んでいるほか、外壁にも割れている箇所がある。令和4年度に屋根の補修工事を予定。将来的に安全にサービスを提供することが困難になりつつある。
- ・豊栄児童センターまで900m。徒歩12分程度。

建物償却率とは・・・
 財産上の残存価値(耐用年数からの経過)の基準とし老朽化の目安としました。この値が大きい程、老朽化が進んでいる施設と考えられます。

児童館の取組み

児童館の機能・役割と活動内容

- 日々の活動として、異年齢での関わりへの支援。
- 遊びによる子どもの育成。
- 子育てをする保護者への支援と親子遊びを目的とした「かるがもデー」を毎週実施。
- 地域の健全育成の環境づくりとして、地域組織の育成・支援。(手芸クラブやアンチエイジングの会など)
- 地域クラブの行事を通じて、笹団子づくりや餅つきなど児童の伝統行事体験。
- 書道の指導など地域と連携した地域と児童、多世代交流の取組み。
- 地域ボランティアと連携した学習支援への取組み。
- 子どもと子育て家庭が抱える可能性のある課題の発生予防・早期発見と対応。

令和3年度・4年度 事業実施報告書より抜粋・加筆

葛塚東児童館～活動の様子～

カブラにチャレンジ!



芋掘り



寄せ植え



建物が小さくても「ここが好き!」という児童の憩いの場です。
葛塚小学校ふれあいスクールへの出張も実施しています。親子で児童館をご利用くださっている方のいる、地域に愛されている児童館です。

早通児童センター一周辺の概況

周辺施設の概要

分類	施設名	建築年
コミュニティ系施設	早通コミュニティセンター	昭和56年～平成24年
庁舎系施設	早通連絡所	昭和56年～平成24年
子育て支援施設	早通南保育園子育て支援センター	平成19年
ひまわりクラブ	早通南ひまわりクラブ第1	平成20年
ひまわりクラブ	早通南ひまわりクラブ第2	平成20年
学校教育施設	早通南小学校	昭和52年～平成11年
学校教育施設	早通中学校	昭和59年～平成22年



早通児童センターと同敷地内にコミュニティセンターと連絡所があります。駅の北側にある早通健康福祉会館(自治会館)では、多世代交流カフェが開催されています。早通南保育園には子育て支援センター「レインボーキッズ」が併設されています。

早通児童センターの概況

- ・指定管理者による管理運営施設。
- ・昭和56年建築で築41年経過。鉄骨造。
- ・建物償却率 100% (令和3年度財産白書より)
- ・トイレ、遊戯室、集会室の雨漏りがみられ、令和3年度に補修実施。令和4年度にトイレの雨漏りもあり補修工事を予定。屋根の劣化が著しく進んでおり、外壁はパネルの割れが複数ある。将来的に安全にサービスを提供することが困難になりつつある。

児童館の取組み

児童館の機能・役割と活動内容

- 日々の活動として、異年齢での関わりへの支援。
- 遊びによる子どもの育成。
- クリスマスミニコンサートなどの行事を通じた中学生との交流。
- 児童の発達段階に応じた行事の実施による子どもの育成。
- 子育てをする保護者への支援と親子遊びを目的とした「いちごタイム」を毎週実施。
- 地域の健全育成の環境づくりとして、地域組織の育成・支援。(ニコニコクラブや卓球クラブなど)
- 地域クラブの行事を通じて、地域と児童、多世代の交流を図った活動の実施。
- 地域ボランティアと連携し生け花や工作、卓球指導、けん玉などの行事を実施。
- 子どもと子育て家庭が抱える可能性のある課題の発生予防・早期発見と対応。

令和3年度・4年度 事業実施報告書より抜粋・加筆

早通児童センター～活動の様子～

早中総踊り



クリスマスミニコンサート♪



地域の方とどんぐり工作



地域子ども達と大人をつなぐ場所として地域に根差した児童館です。早通中学校、早通南小学校との交流もあり、多世代のふれあいの場となっています。

3.これまでの取り組み

児童館事業についての検討

北区の児童館施設は一部地域に集中しているなど、配置バランスに偏りが見られます。また、歩いて行ける場所に児童館がない地域の方が大多数です。北区全域に向け児童館機能を届けるために機能の拡充が必要です。

出張児童館

児童厚生員が館外へでて児童が過ごせる時間や居場所を作る事業です。児童館サービス提供の場を学校や地域の既存施設に拡げています。

- ・従来から、各館で独自に近隣小学校などへの出前児童館を実施していました。
- ・児童館のない地域へ児童館に求められる役割を展開できるように令和4年度からの指定管理者の業務として出張児童館を実施しています。



北区児童館ミニ祭り
会場：北地区公民館



ふれあいスクール出張工作教室
会場：濁川小学校

出張児童館事業の取組みや児童館の機能・役割に関する意見を広くお聴きする座談会を開催しました。

〈良かった点〉

- 親子で参加し、一緒に楽しむことが良かった。
- さまざまな年齢の子どもと一緒に遊べてよかった。
- 学区に出張児童館が放課後來てくれてよかった。



ふれあいスクール出張たるだいこ&ストローとんぼ作り
会場：岡方第一小学校



おためし児童館
会場：濁川公民館

児童館再編の計画案を作成

再編の基本的な考え方

1. 北区児童館の効率的な管理・利活用を図り、持続可能なサービスの提供を目指すため施設数の削減をし、サービス機能をできるだけ維持するように努めていきます。
2. 歩いて行ける場所に児童館がない地域の方々へも児童館に求められる役割を届けるため、サービス機能拡充への取組みを推進していきます。

具体的な取組み案

【児童館のハード面】

- ・老朽化の進む葛塚東児童館、早通児童センターを廃止します。
- ・豊栄児童センター、三ツ森児童館の適切な施設管理に努めます。

【児童館のソフト面】

- ・規模の大きい豊栄児童センターを拠点としてより明確に位置づけ、出張児童館などのソフト事業の児童館事業を北区全域へ拡充します。

【その他の取組み】

- ・子育て支援センターなど児童館と似た役割を持つ施設の利用促進を図ります。
- ・行政だけでなく、地域で子どもの居場所づくりに取り組む団体を支援し、中高生も含めた居場所の拡がりに取り組めます。
- ・建物が担っていた、「いつでも行ける子どもの居場所」を確保していく方策を検討していきます。

対応策検討例

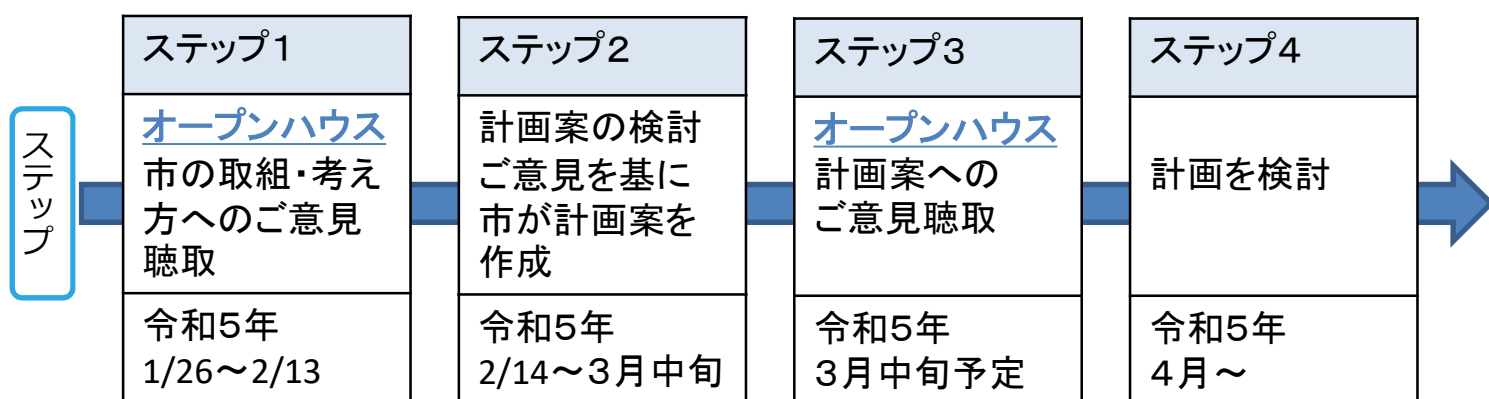
	ハード面	ソフト面
葛塚東児童館	廃止 豊栄児童センターと統合	豊栄児童センターとサービス統合
豊栄児童センター	存続 葛塚東児童館の受け入れ	既存サービスの拡充 北区の児童館施設の拠点
三ツ森児童館	存続	現状のとおり
早通児童センター	廃止 他既存施設に一部空間確保の可能性	出張児童館 相談機能体制の整備
その他の取組み		ボランティアの育成 地域の健全育成の環境づくり

児童館再編案

検討の進め方

今後の進め方

北区では、オープンハウス(パネル展示型説明会)を通じ、広くご意見を伺うとともに、いただいたご意見を丁寧に検討していきます。



○現在、ご活用いただいている施設の利用状況・老朽化の状況などを客観的に考慮し、市の考えを提示いたしました。

○施設数は削減しながら地域にとってより良い施設再編となるよう考えております。

○施設の廃止によりどのような心配があるか、改善のためにはどういったことが考えられるか、ぜひ皆さまからのご意見をお寄せください。

皆さまのご意見・ご提案を基に検討を進めていきます。

ぜひご意見をお寄せください。



パネル展示型説明会
(オープンハウス)

検討の状況をまとめたパネル展示を地域の皆さまにご覧いただき、職員が皆さまのご意見を伺ったり、ご質問に答えたりします。

みんなで考えよう！北区の児童館のこれから



ご意見・お問い合わせ先

みなさんのご意見をお寄せください！

新潟市北区健康福祉課
〒950-3393新潟市北区東栄町1丁目1番14号
TEL：025-387-1335
E-mail：kenko.n@city.niigata.lg.jp